

SUPER  BBC

ナイチンゲール

小夜啼鳥に千のくちづけ

安曇もか





SUPER BE × BOY COMICS
CONTENTS

小夜啼鳥に千のくちづけ

安曇もか

小夜啼鳥に花飾り 3

小夜啼鳥に花飾り～アラビアンナイト～ 35

小夜啼鳥に花飾り～ナイトメア～ 59

小夜啼鳥に花飾り～光の庭～ 91

小夜啼鳥に千のくちづけ 121

FREE TALK 175

小夜啼鳥に 花飾り

はな かぜ

シノワズリ

Chinoiserie

服飾品、家具調度品、室内装飾、陶磁器、絵画などに中国的な装飾を取り入れた美術様式。ヨーロッパでロココ様式と融合し、貴族の異国趣味として、18世紀には最高潮の人気となった。





お待ちしておりました
ファビアン・ド・
ボードビアル様

久しぶりだね
クレマンからいいものを
仕入れて来たよ
聞いているよ

クレマン様には足繁く
お越し頂いております



溢れかえるオリエンタルな
調度品の中に

美しい東洋人の少年を見つけた

今まで金に任せた収集癖で
様々なものを求めてきたが
その日……





まるで異国の…
東洋の人形だ

逸品だ…
いっぴん



ひと目でその人形のような
風情の少年が
どうしても欲しくなった

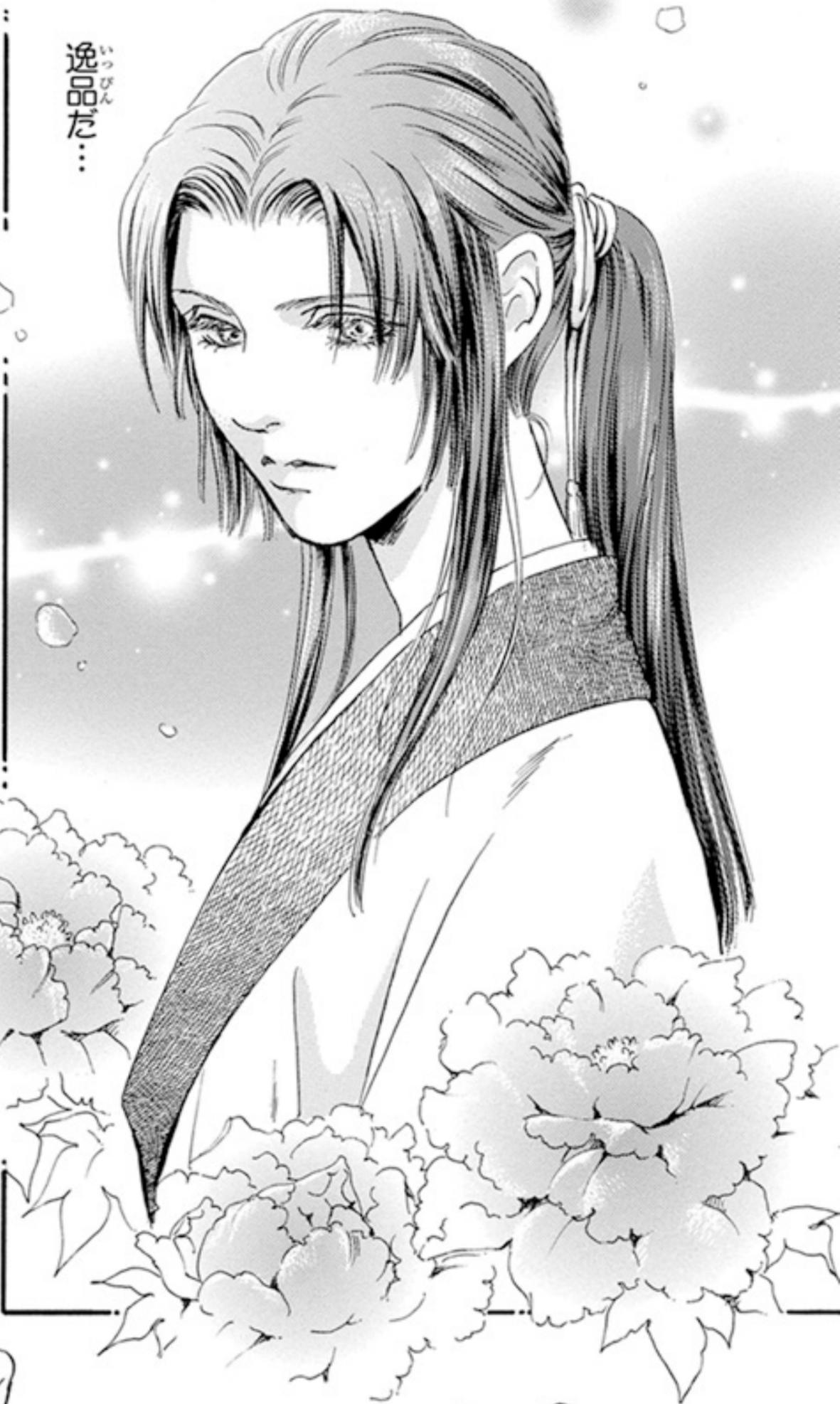
彼を…売ってくれ



は？

その子は売り物では
ございません！

困ったものだ

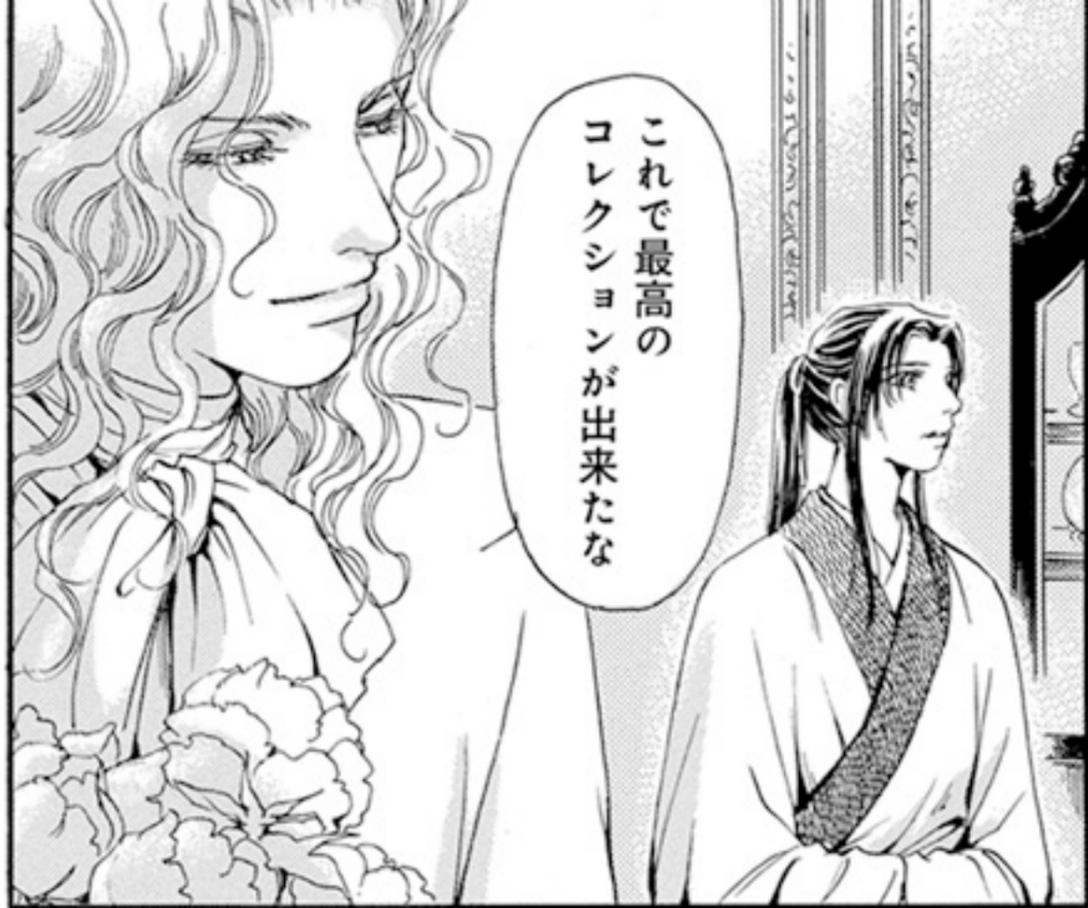


収集癖故か
欲しいものは何としても
手に入れずには収まらない

私にはそういうところがある
もはや何も聞かえなかつた



おいで



これで最高の
コレクションが出来たな



男なのが残念だが



.....



いや命令だ！



これはつけていなさい
似合うんだから

あ、



この部屋をお前に与えよう

東洋風の調度品を集めた
自慢の部屋だ



ああ
異国の
綴り

チュンラン……?



……君蘭……

言葉は解るようだな
そうだと何と呼ぼうか……
名前は……



この部屋の物は
好きに使いなさい

気に入った物を
どんどん集めてしまったが
使い方がわからない物が
多くてね
たとえばなぜ
この美しいレリーフが
裏なのかな?



ああそれは
そうやって使うのか……
清国の文字だな



ああ……
君蘭



まるで合わせて歌っている
みたいだな

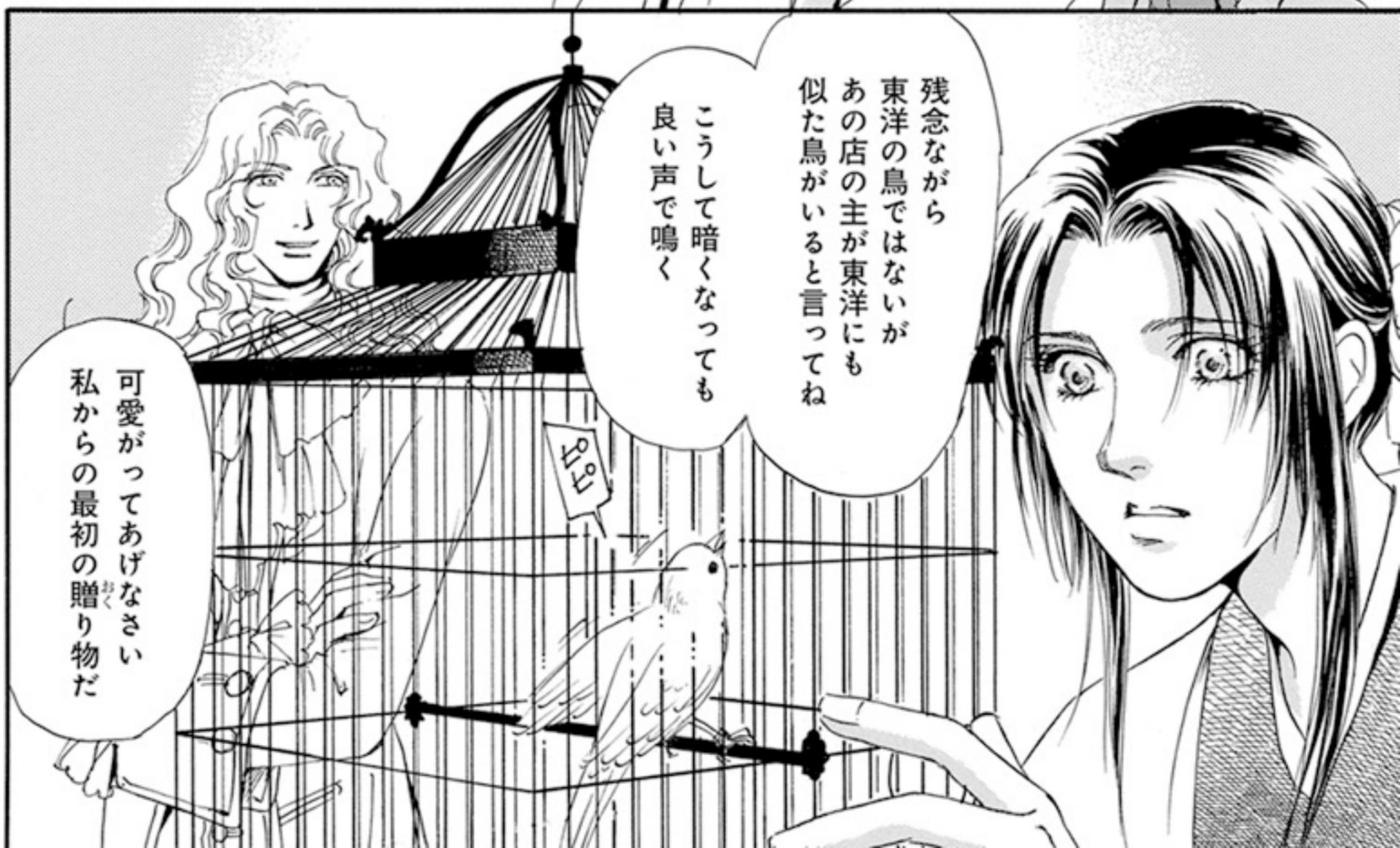
ナイチンゲールという鳥だ



…東洋の音楽のようだ…

この部屋では時間さえも
艶やかな色を持って

ゆっくりと心地よく
染み込んでくるようだ



残念ながら
東洋の鳥ではないが
あの店の主が東洋にも
似た鳥がいると言ってるね

こうして暗くなっても
良い声で鳴く

可愛がってあげなさい
私からの最初の贈り物だ



え……?

なに
その髪色……。



あれ……?

ほゆ……



はにかんでる……?

ありがとう……
ございます……

か……可愛い……!
何でも買って
あげたくなる
じゃないか……!

おや……

広い：
こんな屋敷に来たのは
初めてだ：

ああ
あの子ねえ

綺麗だけど：
男じゃねえ

旦那様のことも
可哀想だけど
長くはもたないわね

今までだって
そうだったもの

凝り性だけど
いろんなものにハマって
飽きたらポイ！



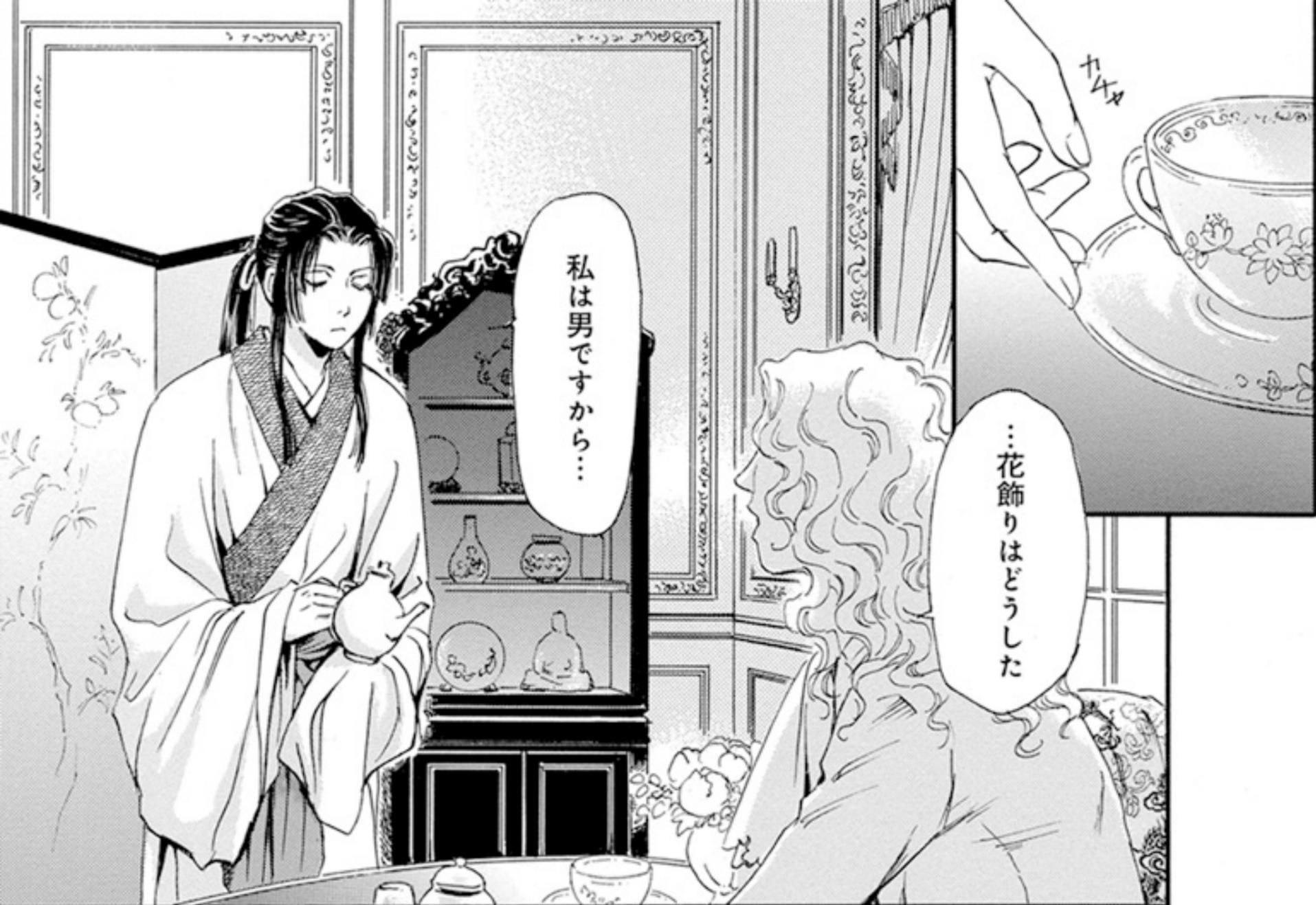
東洋趣味もいつまで
続くのか：

使い道って
あんた！
やーだ！

あ、あ、あ、あ、あ

あの子も
女だったらまだ
使い道も…ねえ？





私は男ですから…

…花飾りはどうした



口数が少ないのは
言葉の壁というものかと
思っていたが…

相変わらず愛想がないな

いや…なんか
もしかして…
機嫌が悪い…？

微妙に…！

ああっ
判じしよさ…！

命令だと
言っただじゃないか



この服を着てご覧
お前に似合いそうな色を
私が選んだんだよ

→
ご機嫌を
とる主



め...命令だ!

.....

東洋人はあまり感情を
表に出さないのだろうか...

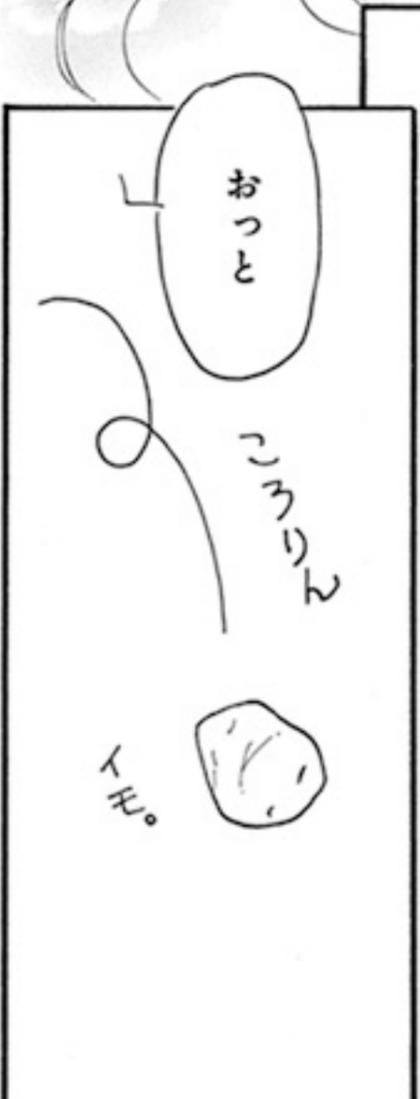
まあそれも奥ゆかしさか...

何よりミステリアスで
一層美しく映る...



花のような君蘭...

花のような...



おっと

こわい

トモ

俺はもう40年
ここで働いてる

先代の頃からさ

あたしは35年だねえ
…おやえらく驚いてるね

ここの使用人達は
長いもんが多いからね

庭師なんか
もう3代続いでる



帰るところはありませんから…



…私も…
長くここにいられると
良いのですが…

ずっとこの国に
いるのか



仕事があるのは
いいことだ

ああ見えて旦那様も
良い方だよ



ほら
旦那様が
お呼びだ

君蘭！

君蘭！

！